

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）レイタク	フリガナ）ケイザイ	フリガナ）ナカジマ
麗澤大学	経済学部	中島ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ガンバロウ	フリガナ）クワハラセイヤ	3	無
頑張ろう	桑原聖矢		

研究テーマ（発表タイトル）
「U 株」～学生時代に始める少額での株式投資

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

「貯蓄から投資へ」という言葉を聞く割には、家計の金融資産の 5 割以上は依然として現預金に当てられており、この比率はあまり変わっていない。この現状を打破するために、若くて時間のある若者、主に大学生をターゲットにした「U 株」を普及させることで株式投資の経験を積ませることが狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

研究概要で述べた通り、日本人の金融資産の 5 割以上は現預金に当てられている。この原因としては日本人の金融知識の不足が考えられる。これはこれまでの金融教育が消費者としての最低限の知識を身につける授業にとどまり、金融のサービスや商品に対してはあまり触れられて来なかった。この金融教育を充実させることも重要だが、これがすぐに株式等の投資に結びつくにはかなりの時間を要するとみられる。また、政府は「NISA」（少額投資非課税制度）を導入したが実際に投資が行われている稼働口座数は 290 万口座（59%）に過ぎず、4 割はまったく買付け実績のない不稼働口座となっている。

3. 研究テーマの課題

研究テーマの課題はいかにして、貯蓄から投資へ若者を動かし投資の知識を増やせるかである。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

少額で投資を始められる「U 株」という商品を作り、その中で株式の銘柄選びや分散投資、値動きを追うことによって実践的な株式投資の技術を身につけて若者の預金を投資に向かわせていく。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

我々は「U 株」という商品を開発した。この「U 株」は大学生を対象として作られており、モチーフとなっているプチ株、ワン株、S 株の難しい部分を排除し、初心者の方のために簡単でお手軽に投資ができるように商品開発した。それだけでは商品がうまく人々に浸透しないため、プロモーションキャンペーンを設ける（お友達紹介等）。「U 株」を使う人間が増えることによって、投資への

意欲、知識の強化を行える。

6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通じて、いかに人々が投資というものに消極的なのかが分かった。そしてまだまだ知られていない商品がたくさんあることを学んだ。投資の知識不足等を改善するために試行錯誤して「U 株」を提案できたことは、自分にとってプラスであり、これが将来本当に商品化すればいいなと思った。自分たちもこの研究の成果を糧に、行うべきだと感じた。

7. 参考文献

西野武彦（2004）『ミニ株投資』の基本がわかる本』PHP 研究所

木村佳子（2000）『1 万円からできる! はじめての「ミニ株」入門』中経出版

日本銀行調査統計局：資金循環の日米欧比較 <https://www.boj.or.jp/statistics/sj/sjhiq.pdf>

日本証券業協会：中学校・高等学校における金融経済教育の実態調査

http://www.jsda.or.jp/manabu/kenkyukai/content/report_jittai.pdf

日本証券業協会：NISA 及びジュニア NISA 口座開設・利用状況調査結果について

<http://www.jsda.or.jp/shiryo/chousa/nisajoukyou/nisa10.pdf>

マネックス証券 <http://www.monex.co.jp/Etc/00000000/guest/G3200/wankb/index.htm>

SBI 証券 http://faq.sbisecc.co.jp/faq_detail.html?id=11076

カブドットコム証券 <http://kabu.com/company/lp/lp38.html>

やさしい株の始め方 <http://kabukiso.com/security/mini.html>

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。